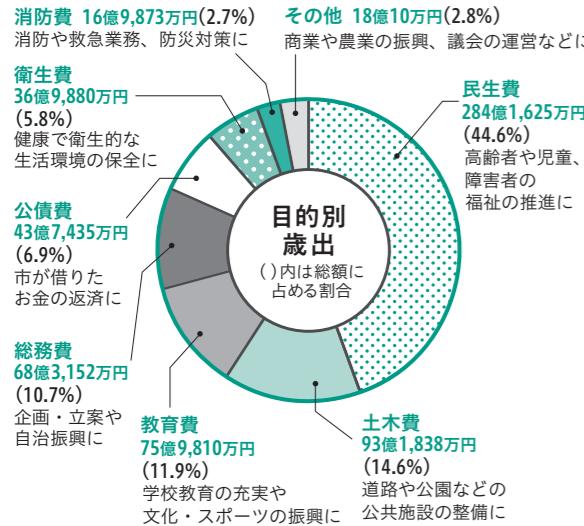


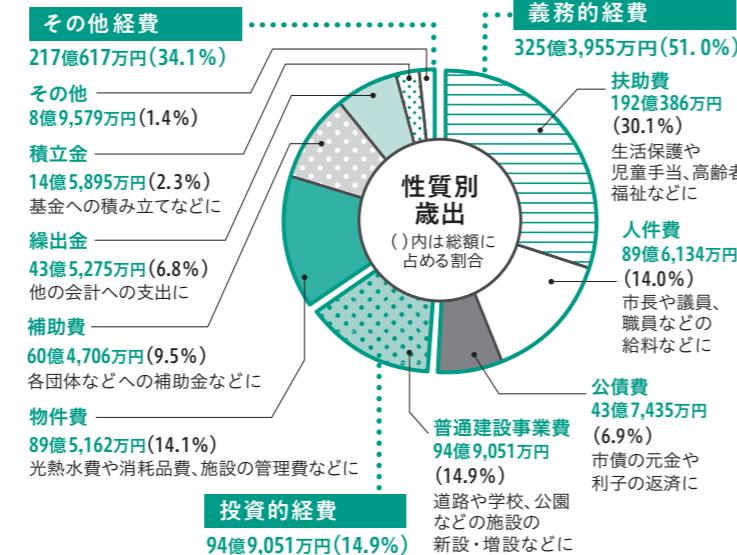
歳出
(支出) 総額 637億3,623万円
前年度比 52億8,966万円増(9.1%増)

歳出を 2 つの観点から分類!

目的別分類 歳出を福祉や公共施設整備、教育のためなど、行政目的の観点から分類



性質別分類 歳出を経済的性質の観点から分類。どのような経費がかかっているかや、必要経費(義務的経費)はどのくらいあるかなど、予算の弾力性や行政運営経費の内容



特別会計 特定の歳入を特定の歳出に充てて経理する会計です。

●特別会計の内訳

区分	歳入	歳出	差し引き
国民健康保険	113億5,430万円	112億6,905万円	8,525万円
財産区	2億1,633万円	2億1,633万円	0万円
学校給食センター	11億5,622万円	11億5,622万円	0万円
介護保険	102億5,873万円	101億5,235万円	1億638万円
後期高齢者医療	20億7,227万円	20億6,883万円	344万円

※地方公営企業法を適用している水道事業と下水道事業は除く

財政指標 早期健全化基準値内に収まる良好な水準でした

財政指標とは、全国で統一されている指標で、自治体の財政の健康診断に用いられます。財政の健全性を表す4つの指標は、いずれも基準を超えておらず、市の財政指標は良好な水準です。

●令和6年度決算 健全化判断比率・資金不足比率

区分	内容	草津市	早期健全化基準 (危険信号 ^{※2})
実質赤字比率	普通会計(一般会計と他1会計)の赤字額の標準財政規模 ^{※1} に占める比率	赤字なし	11.73%
連結実質赤字比率	全会計(財産区を除く)の赤字額の標準財政規模に占める比率	赤字なし	16.73%
実質公債費比率	全会計(財産区を除く)での借入金の返済額のうち、主に市税によって返済した額の標準財政規模に占める割合	4.0%	25.0%
将来負担比率	全会計(財産区を除く)や外郭団体などを含めて、主に市税によって今後負担すると見込まれる負債の標準財政規模に占める比率	-	350.0%
資金不足比率	資金不足比率の対象は、水道・下水道事業会計の2会計	資金不足なし!	経営健全化基準 20.0%

※1 市税と交付税などの合計額で、市の一般財源の標準的な大きさを示す ※2 この基準を超えると、財政再建に取り組む必要がある

くさつの家計簿

問 財政課(3階)☎561-2304、 Fax561-2483

市では毎年、予算の執行状況や決算について公表し、皆さんの納めた税金などがどのように使われているかをお知らせしています。市の財政を身近に感じてもらえるよう、令和6年度の決算概要や市の財政状況をまとめました。



昨年度の
お金の
使われ方を
見てみよう
たび!

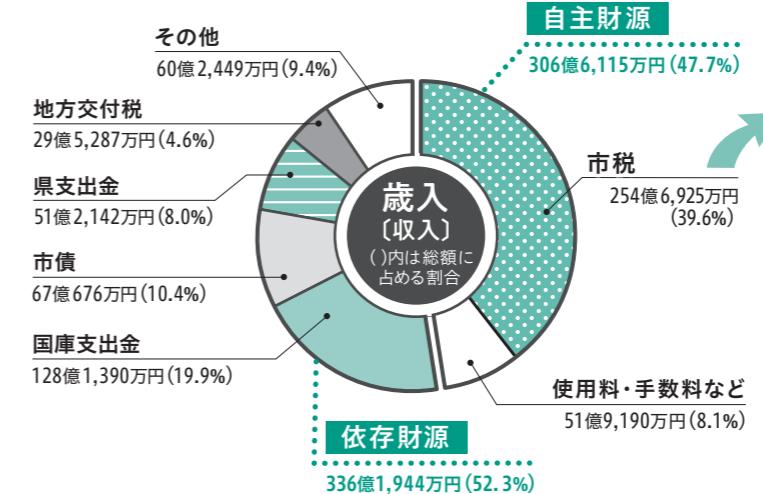
※四捨五入の関係で、値が合わない場合があります

令和6年度 決算状況

一般会計

歳入
(収入)

総額 642億8,059万円
前年度比 51億9,985万円増(8.8%増)



用語の解説

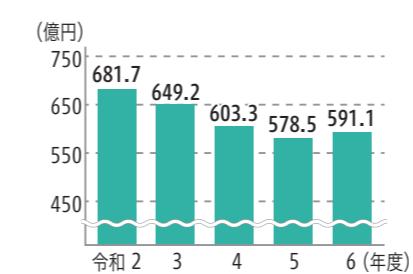
市税 市に納められる税金
国庫支出金 市が行う特定の事業に対して国が支出するお金
県支出金 市が行う特定の事業に対して県が支出するお金

市債 多額の費用が必要な場合などに行う市の借入金
地方交付税 市の財政状況に応じて国から交付されるお金
自主財源 市が自動的に収入できるお金
依存財源 国や県によって定められた額の交付金

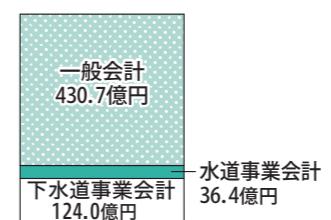
市債(長期借入金)

主に道路や学校、下水道など、長期間使用する施設を整備するときの財源の一部にします。令和6年度は、大規模事業の実施に伴い、昨年を上回る借入を行っています。

市債残高の推移



市債残高(591.1億円)の内訳



基金

特定の事業を行ったり、財源が不足したりするときに使います。

■現在高 214億8,043万円

財政調整基金 70億1,696万円、減債基金 49億8,463万円、まちづくり基盤整備基金 44億8,741万円など11基金

昨年度比
1.5億円
増

財産

■公有財産

土地/177.8万m²、建物/延べ床面積40.4万m²、有価証券/2,831万円、出資金(特定の協会や公社などへの出資金)/16億9,070万円

令和7年度 予算の執行状況 4～9月のお金の動きをお知らせします。

(令和7年9月末時点)

● 一般会計

歳入歳出予算額	歳入収入率	歳出執行率
672億2,562万円	39.9%	37.3%

● 特別会計

区分	歳入歳出 予算額	歳入 収入率	歳出 執行率
国民健康保険	113億2,200万円	30.7%	33.9%
財産区	1億9,890万円	92.4%	89.3%
学校給食センター	12億3,560万円	3.5%	36.7%
介護保険	104億7,820万円	40.4%	41.3%
後期高齢者医療	20億8,950万円	35.6%	39.1%

● 特別会計のうち公営企業会計

区分	収入予算額	収入率	支出予算額	執行率
水道	26億3,200万円	50.0%	24億3,900万円	38.6%
下水道	39億8,600万円	41.6%	35億1,700万円	40.8%

市では、将来にわたって持続的に発展していくよう「草津市健全で持続可能な財政運営および財政規律に関する条例」「財政規律ガイドライン」を定めています。財政規律の確保を図るとともに、市民ニーズの変化に合わせて事業の見直しを進め、引き続き健全な財政運営の維持に努めます。

